

コメント

太郎丸 博

(京都大学)

個人化とライフコースの多様化

- 家族・学校・企業による若者のサポート体制の弱体化
- レールから一度外れるとサポートを受けにくい
が、ライフコースは多様化
- 政府による援助が不可避 ⇒ 増税？

政策の効果をどう評価？

- ほんとうに効果があるのか
- 効果があるならば、それをどうやって示すか

二種類の問題

- 働く能力も意欲もあるが、適当な職が見つからない
 - マッチング、雇用創出、住宅
- 働く能力、または意欲が十分でない
 - 教育、医療
- ただし、支援は包括的に

脱工業化と若者

- 工業社会から脱工業社会へ（1980年代が転換点）
- 工業社会では若者向けのブルーカラー職が多かったが、脱工業社会ではそれが縮小
- 中期的にどのような社会を目指すのか？

性別分業と家族の変容？

- 正規・非正規雇用間の差別は、主婦制度を前提
- 正規・非正規の差別を撤廃すれば、正規の賃金は低下
- 女性もふつうにフルタイムで働く必要あり
- 既存の男女の分業を見直す必要あり(主婦を優遇する税制などを廃止)